



地域から創る、 すべての人の“生存権”が 保障される社会 —秋田から考える—

日本は相対的貧困率が先進国の中でも高いと言われている中、近年のコロナ禍、物価高騰などにより、生活に困窮する人がさらに増えていることが懸念されます。そこで、日本の貧困問題の実態を知り、その解決のためには何が必要か、皆さんとともに考えたいと思います。

令和 9月14日(土) 午後1時～午後4時
6年 (開場／午後0時30分～)

会場 ◆ 秋田芸術劇場ミルハス 小ホールA
(秋田市千秋明徳町2番52号)

入場
無料

事前申込み不要

プログラム1
講演

「地域をたがやす『つながり』づくり こども食堂から考える」

講師 湯浅 誠氏 NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長
東京大学先端科学技術研究センター特任教授

プログラム2
活動報告

- ◆ NPO法人 秋田たすけあいネットあゆむ 保坂 ひろみ氏
- ◆ NPO法人 セーフティネット秋田つなぎ隊 松前 克美氏



講師プロフィール

湯浅 誠 Makoto YUASA

社会活動家。東京大学先端科学技術研究センター特任教授。経済同友会会員。認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長。

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。1990年代よりホームレス支援に従事し、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。こども家庭庁「こども家庭審議会こどもの居場所部会」委員。